

新潟市口腔保健福祉センター一年次報告（概要）
（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

1 利用実績

(1) 急患診療

	診療日数	利用患者数	一日平均患者数
平成28年度通年	72日	754人	平均 10.5人
平常の休日	50日	408人	平均 8.2人
連休及び1日飛び休日	15日	160人	平均 10.7人
お盆（平日）	2日	41人	平均 20.5人
お盆（休日）	1日	21人	平均 21.0人
年末	1日	40人	平均 40.0人
年始	3日	84人	平均 28.0人

性別年齢別患者内訳

	男	女	計
6歳未満	28	31	59
6～17歳	53	35	88
18～64歳	241	198	439
65歳以上	83	85	168
計			754

(人)

年間利用患者数は754人で前年に比べて大幅に減少した。一日平均患者数は10.5人で、その内訳は、平常の休日では昨年の9.9人から8.2人に、連休及び1日飛び休日は15.6人から10.7人に、お盆の平日は25.0人から20.5人に、お盆の休日は26.0人から21.0人に、年末は64.0人から40.0人に、年始は30.0人から28.0人に、いずれも減少した。年齢別では、患者数の減少に伴い各年齢層で患者数が減少した。疾病別では、う蝕、歯周疾患、外傷の順が多かった。三次医療機関への紹介数は21件だった。

(2) 特別診療

	診療日数	半日診療回数	利用患者数	半日平均患者数
平成28年度通年	196日	243回	1566人	平均 6.4人

性別年齢別患者内訳	男	女	計
6歳未満	8	1	9
6～17歳	302	79	381
18～64歳	569	335	904
65歳以上	103	169	272
計	982	584	1566

(人)

障がい別患者内訳	(人)
知的障害	390
発達障害	502
精神疾患	14
神経難病	37
染色体異常	135
感覚障害	3
認知障害	89
四肢麻痺	390
その他	6

特別診療の年間のべ患者数は1566人で、前年の1479人と比べて増加し、前年比10.6%であった。年齢別患者数は、6歳未満が前年に比べて減少したが、6歳～17歳、18歳

～64歳は増加した。65歳以上の患者数は前年並みであった。疾患別のべ患者数は、例年同様う蝕と歯周疾患がほとんどであった。また、障がい別患者内訳は、発達障がい最も多く、次いで知的障がい、四肢麻痺の割合が多かった。

往診（摂食嚥下評価）は、対象施設は介護老人保健施設「緑樹苑」・特別養老ホーム「黒崎の里」・特別養護老人ホーム「まつはま園」・特別養護老人ホーム「ぼんだい桜園」・介護老人保健施設「白根ヴィラガーデン」の5施設、および、モデル事業として、短期入所生活介護施設「梅の実」を対象とし、月2回往診を行った。年間のべ往診患者数は、ほぼ前年並みであった。

2 利用料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

別紙参照

3 総括・自己評価

急患診療は、利用者数は前年に比べて大幅に減少したが、年間を通して大きなトラブルはなく終了した。

特別診療は、常勤歯科医師の配置と診療日が増設され2年目となり、患者数も増加した。一方で、他医療機関の受診、介護デイサービスや放課後デイサービスなどの福祉サービスの利用で、希望する曜日や予約時間が集中する傾向は前年同様で、予約に偏りが生じやすい状況である。今後、利用者のニーズに応えながら、予約を工夫していく必要がある。さらに、二次医療機関として求められる、一次医療機関、三次医療機関との連携の体制作りを今年度も行ってきたが、今後、より一層連携体制の構築が必要である。

「高齢者福祉施設・障がい者福祉施設に対する歯科保健事業」の口腔健診・研修事業の実施件数及び実施者数は16件152人で、前年度の20施設168人に比べて減少した。本事業の対象施設は地域活動支援センターとしてきたが、今後、対象施設を広げるなどの検討が必要と思われる。

口腔ケア研修事業の実施件数および実施者数は49件693人で、前年と概ね同様の実施状況で、例年通り高いニーズが認められた。訪問介護事業所及び訪問看護事業所を対象として集合型の「口腔ケア研修会」を開催し、講演と実習を行った。

平成29年2月4日に「歯科口腔保健検討会議」を開催し、今年度の活動報告と新潟市口腔保健福祉センターの今後について意見交換を行った。平成29年2月23日に「新潟市口腔保健福祉センター健診・研修関係業務調整会議」を開催し、障がい者・高齢者関係施設関連事業の今年度の活動報告と、今後の取り組みについて意見交換を行った。